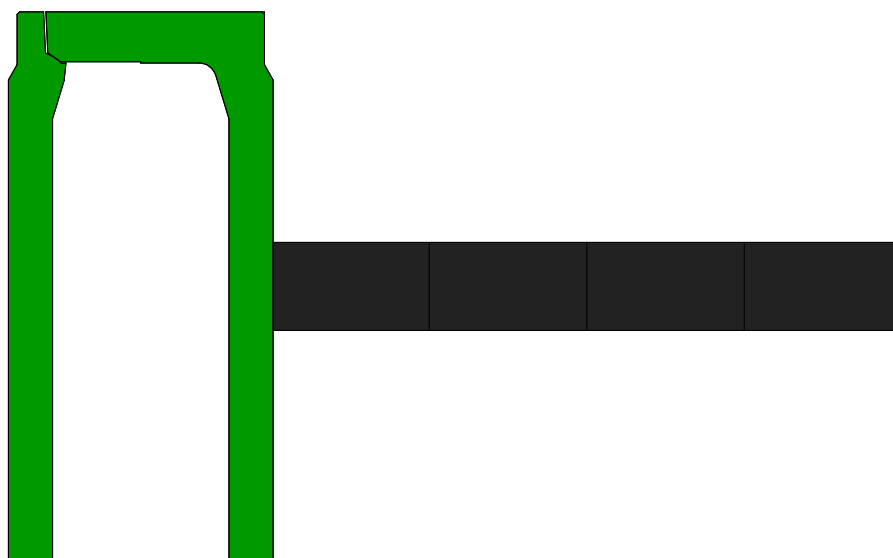


ジオセル土留F×自由勾配側溝 施工要領



アスザック株式会社
インフラエンジニアリング事業部

ジオセル土留FX自由勾配側溝 施工要領

『 施工時にご用意していただく物 』

(機 材) ○プレートコンパクター 70kg以上 ○振動ローラー 500kg以上 ○バックホウ (現場状況により選定)
○電動インパクトレンチ(M12用)

(部 材) ○異形鉄筋 D10-L40cm × 16本 (同等品)

アスザックにて用意

- ジオセル用FX自由勾配側溝
- ジオセル (3,4,5セル 規格は図面を確認)
- 取付プレート4.5*44*250 (側溝1本当たり6枚使用)
- 六角ボルトM12*55 (側溝1本当たり12本使用)
- 丸ワッシャーM12用(側溝1本当たり12枚使用)

『 施 工 手 順 』

1 FX自由勾配側溝(ジオセル用 インサート付)を設置する。

2 FX自由勾配側溝(ジオセル用 インサート付)を設置したのち規定の高さまでインバート打設を行う。
※インバートを打設していただくことにより背面埋め戻しを行うときの側溝のずれ防止とする。



3 FX自由勾配側溝(ジオセル用 インサート付)の背面をジオセル設置する位置まで埋め戻し振動ローラーやプレートコンパクター等で転圧する。
※ジオセルを設置する高さは、側溝の各規格により変わります。埋め戻しはインサートよりも下層に基盤高となるように埋め戻す



ジオセル土留FX自由勾配側溝 施工要領

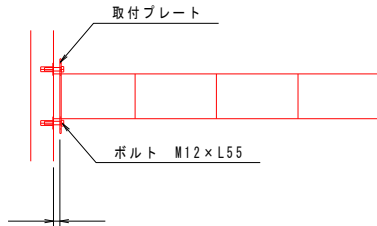
『 施 工 手 順 』

- 4 埋め戻し転圧したのち、ジオセルをFX自由勾配側溝(ジオセル用 インサート付)に取り付け、セル内部に充填を行う。取付方法・充填手順は、①～⑥とする。

①FX自由勾配側溝(ジオセル用 インサート付)の下部のインサートにプレートとボルト・ワッシャーにて固定します。ボルトは電動インパクトレンチにて締めきる。



注意 点



※ 製品(インサート)とプレートの間には隙間が生じます。ジオセルを止めるスペースです。ボルト首下は、すべてインサートに入り込みません。

②ジオセルを側溝背面にたたんである状態にて人力で運搬する。

③ジオセルのセル部(図②参照)を下部インサートに取付てあるプレートを入れ込み上部インサートにボルト・ワッシャーを固定します。ボルトは電動インパクトレンチにて締めきる。



④ジオセルを背面方向に引っ張りセル部に鉄筋棒(異形鉄筋D10-L40cm)を入れ込み基盤面に打ち込み固定する。(固定する時は、次の長さ以上を確保できるようにする。)
(3セル・・・800mm以上 4セル・・・1070mm以上 5セル・・・1330mm以上)



ジオセル土留FX自由勾配側溝 施工要領

『 施 工 手 順 』

- 4 埋め戻し転圧したのち、ジオセルをFX自由勾配側溝(ジオセル用 インサート付)に取り付け、セル内部に充填を行う。取付方法・充填手順は、①～⑥とする。

⑤ジオセルはL=2.65mであり約10mに4枚使用するようになるが、自由勾配側溝の延長によっては余ってしまう、ジオセルが余る状態になった場合は、セルの接続部でない箇所をカッターなどで切断するか、折り返して余らせた状態にしておく。

⑥ジオセルを設置したのち、セル内部に碎石、発生土等を充填します。充填材は余盛を行い、プレートコンパクターにて転圧します。



- 5 十分に充填材がセル内部に充填されたのち、設計されている埋め戻し、舗装を行う。

